

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号  
特許第5584228号  
(P5584228)

(45) 発行日 平成26年9月3日 (2014.9.3)

(24) 登録日 平成26年7月25日 (2014.7.25)

(51) Int.Cl.

F I

A 2 4 F 23/00 (2006.01)

A 2 4 F 23/00

B 6 5 D 21/08 (2006.01)

B 6 5 D 21/08

請求項の数 15 (全 9 頁)

(21) 出願番号	特願2011-537936 (P2011-537936)	(73) 特許権者	500252844
(86) (22) 出願日	平成21年11月18日 (2009.11.18)		ブリティッシュ アメリカン タバコ (
(65) 公表番号	特表2012-510260 (P2012-510260A)		インヴェストメンツ) リミテッド
(43) 公表日	平成24年5月10日 (2012.5.10)		BRITISH AMERICAN TO
(86) 国際出願番号	PCT/EP2009/065417		BACCO (INVESTMENTS)
(87) 国際公開番号	W02010/060845		LIMITED
(87) 国際公開日	平成22年6月3日 (2010.6.3)		イギリス、ロンドン ダブリューシー2ア
審査請求日	平成24年10月22日 (2012.10.22)		ール 3エルエー、ウォーターストリート
(31) 優先権主張番号	0821704.4		1、グローブハウス
(32) 優先日	平成20年11月28日 (2008.11.28)	(74) 代理人	100103285
(33) 優先権主張国	英国 (GB)		弁理士 森田 順之

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 容器

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基部と蓋であって、これらの間に未使用のスヌースを収容するための第1コンパートメントを形成し、少なくとも蓋または基部が変形可能な壁を含み、これによりユーザーが第1コンパートメントとは反対の側に使用済みスヌースを収容するための第2コンパートメントを形成または拡大できるようにする基部および蓋と、第2コンパートメントを閉じるためのカバーとを含む容器。

【請求項 2】

前記壁は、複数の安定した位置の内の選択可能な1つの位置に位置させることが可能な弾性材料から少なくとも部分的に形成され、この壁は、これを所定の程度を超えて変形させることによって加わる圧力に応じてこれら位置の1つに移動可能であり、壁は、前記所定の程度に到達する前に元の位置の方に付勢され、この所定の位置を超えて変形されると別の位置に向かう方向に付勢される、ことを特徴とする請求項1記載の容器。

【請求項 3】

前記壁は2つの極端な位置間であらゆる位置を取れるように徐々に変形できるように少なくとも部分的に弾性材で形成されている、ことを特徴とする請求項1記載の容器。

【請求項 4】

前記壁は、環状の領域に囲まれた中央部分を含み、この環状領域は、この中央部分に圧力を加えることに応じてこの領域で変形するように構成され、これにより中央部分が第1コンパートメント内に第2の形態へと移動する、ことを特徴とする請求項1乃至3いずれ

か 1 項記載の容器。

【請求項 5】

前記環状領域は、環状の溝を含み、前記中央部分がその第 2 の形態へと移動する際にこの溝を中心に中央部分が折れ曲がる、ことを特徴とする請求項 4 記載の容器。

【請求項 6】

前記環状の溝は、所定の圧力が中央部分に加えられたときに前記中央部分が第 2 の形態を取るよう作製された弾性材料から形成される、ことを特徴とする請求項 5 記載の容器。

【請求項 7】

前記カバーは、前記壁が形を変えたときのみ、第 2 コンパートメントが形成されるように第 1 の形態にある壁上に直接位置する、ことを特徴とする請求項 1 乃至 6 いずれか 1 項記載の容器。

10

【請求項 8】

請求項 4 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の中央部分は、第 1 の形態の壁の外面を下に凹んだ形状であり、これにより前記カバーがこの凹みに収容され、前記壁に取り付けられた際に前記カバーと前記蓋が面一になる、ことを特徴とする請求項 7 記載の容器。

【請求項 9】

共に容器の総容量を構成する第 1 および第 2 コンパートメントで容器が形成され、前記壁は総容量を変えることなく、第 1 および第 2 コンパートメントの相対的な容量を変えることができるように構成されている、ことを特徴とする請求項 1 乃至 6 いずれか 1 項記載の容器。

20

【請求項 10】

容器は、容器の総容量を構成する第 1 コンパートメントのみによって形成され、壁は、壁が形を変えられた際、前記総容量を変えずに第 1 コンパートメントの容積の一部が第 2 コンパートメントを形成できるように形成される、ことを特徴とする請求項 7 記載の容器。

【請求項 11】

前記壁は、溝の外側に環状の凹みを含み、この凹みは、これと協働するカバーの突起を受けてカバーを壁に取り付けるようにする、ことを特徴とする請求項 5 乃至 10 いずれか 1 項記載の容器。

30

【請求項 12】

前記カバーは、半径方向に延び、前記壁の前記環状の凹みに位置する協働突起を含む、ことを特徴とする請求項 11 記載の容器。

【請求項 13】

前記カバーは、軸方向に延びた第 2 の突起を含み、この第 2 の突起は、前記カバーを前記壁に取り付けるために前記環状の溝に位置する、ことを特徴とする請求項 12 記載の容器。

【請求項 14】

前記中央部分は、前記壁の形を変えたときに変形しない剛性のプレートである、ことを特徴とする請求項 4、5、6 又は 8 記載の容器。

40

【請求項 15】

未使用のスヌースを収容するための第 1 収容コンパートメントを間に形成する基部と蓋を含み、少なくとも蓋および/または基部が壁を含むスヌース用の容器に廃棄するスヌースを収容するコンパートメントを形成する方法であって、この方法は、前記壁からカバーを取り除く工程と、前記壁の形を変えるために前記壁に圧力を加えて第 1 収容コンパートメントに対して前記壁の反対の側に使用済みのスヌースを収容するための第 2 コンパートメントを形成する工程とを含む方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

50

本発明は、スヌース (snus、嗅ぎタバコ) 用の容器に関する。

【背景技術】

【0002】

スヌースは、ばらの状態または透過性の袋に小分けされた状態で販売されており、水分の保つために繰り返し封止可能な蓋を有する箱に梱包されている。通常スヌースは、長時間上唇の下に入れて消費され、その後ゴミにならないようにゴミ箱などの適当な場所に捨てられるのが好ましい。しかしながら、紙巻きタバコの喫煙と異なり、スヌースの消費は、指定の場所に制限されておらず、ユーザーは、常に使用済みスヌースを捨てなければならないときにゴミ箱のそばにいたとは限らないので、スヌースの処分には共通の問題点がある。

10

【0003】

上述の問題点を克服するために特許文献1から使用済みスヌースを保持する容器が知られており、この容器は、一時的に使用済みスヌースを収容するための別個のコンパートメントも含んでいる。このコンパートメントは、蓋に設けられた凹部およびヒンジによって接続され、繰り返し開閉できるカバーとによって構成されている。このような設計により、ある程度使用済みスヌースをユーザーが適当な廃棄場所を見つけるまで、この別個のコンパートメントに溜めておくことができる。しかしながら、この容器の不利な点の1つに常にその容量を最大限に利用できないということがある。例えば、この容器は、未使用のスヌースを保持するためのスペースまで占める第2コンパートメントを含むことによって同様の寸法の標準的な容器より梱包できるスヌースの数が少なくなる、または容器が使用済みのスヌースを収容するための空の別個のコンパートメントを設けるために通常の容器より大きくなってしまう。

20

【0004】

また特許文献2からは分割壁を有するスヌース用容器が知られており、この分割壁は、1つのコンパートメントが未使用のスヌースを保持し、第2のコンパートメントが使用済みのスヌースを収容、保存するように容器の内部を分割している。この分割壁は、一方に対して移動可能であり、よって2つのコンパートメントの容積は、容器中に存在する未使用および使用済みスヌースの量に対して調節することができる。しかしながら、容器の蓋が使用済みおよび未使用のスヌースの両方の取り出し口になるので、ユーザーは、スヌースの一部を取り出す際に不快な臭いに晒されるおよび/または不快のものを目にする事になる。

30

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

本発明は、上述の問題点を克服するまたは実質的に軽減するスヌース用の容器を提供することを目的としている。

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明では基部と蓋であって、これらの間に未使用のスヌースを収容するための第1コンパートメントを形成し、少なくとも蓋または基部が変形可能な壁を含み、これによりユーザーが第1コンパートメントとは反対の側に使用済みスヌースを収容するための第2コンパートメントを形成または拡大できるようにする基部および蓋と、第2コンパートメントを閉じるためのカバーとを含む容器が提供される。

40

【0007】

好ましくは上記壁は、複数の安定した位置の内の選択可能な1つの位置に位置させることが可能な弾性材料から少なくとも部分的に形成され、この壁は、これを所定の程度を超えて変形させることによって加わる圧力に応じてこれら位置の1つに移動可能であり、壁は、上記所定の程度に到達する前に元の位置の方に付勢され、この所定の位置を超えて変形されると別の位置に向かう方向に付勢される。

【0008】

50

1つの実施態様において、壁は2つの極端な位置間であらゆる位置を取れるように徐々に変形できるように少なくとも部分的に弾性材で形成されている。

【0009】

好ましくは壁は、環状の領域に囲まれた中央部分を含み、この環状領域は、この中央部分に圧力を加えることに応じてこの領域で変形するように構成され、これにより中央部分が第1コンパートメント内に第2の形態へと移動する。

【0010】

この環状領域は、環状の溝を含み、中央部分がその第2の形態へと移動する際にこの溝を中心に中央部分が折れ曲がるようにすると都合がよい。

【0011】

好ましくは環状の溝は、所定の圧力が中央部分に加えられたときに中央部分が第2の形態を取るように作製された弾性材料から形成される。

【0012】

上記カバーは、壁が形を変えたときのみ、第2コンパートメントが形成されるように第1の形態にある壁上に直接位置する。

【0013】

1つの実施態様において中央部分は、第1の形態の壁の外面を僅かに下に凹んだ形状であり、これによりカバーがこの凹みに収容され、壁に取り付けられた際にカバーと蓋が面一になる。

【0014】

好ましくは共に容器の総容量を構成する第1および第2コンパートメントで容器が形成され、壁は総容量を変えずに、第1および第2コンパートメントの相対的な容量を変えることができるように構成されている。

【0015】

容器は、容器の総容量を構成する第1コンパートメントのみによって形成され、壁は、壁が形を変えられた際、上記総容量を変えずに第1コンパートメントの容積の一部が第2コンパートメントを形成できるように形成される。

【0016】

壁は、溝の外側に環状の凹みを含み、この凹みは、これと協働するカバーの突起を受けてカバーを壁に取り付けるようにすると都合がよい。

【0017】

カバーは、好ましくは半径方向に延び、壁の環状の凹部に位置する協働突起を含む。

【0018】

カバーは、軸方向に延びた第2の突起を含み、この第2の突起は、カバーを壁に取り付けるために上記環状の溝に位置する。

【0019】

1つの実施態様において中央領域は、壁の形を変えたときに変形しない剛性のプレートである。

【0020】

また本発明は、未使用のスヌースを収容するための第1収容コンパートメントを間に形成する基部と蓋を含み、少なくとも蓋および/または基部が壁とカバーを含むスヌース用の容器に廃棄するスヌースを収容するコンパートメントを形成する方法を提供し、この方法は、壁からカバーを取り除く工程と、壁の形を変えるために壁に圧力を加えて第1収容コンパートメントに対して壁の反対の側に使用済みのスヌースを収容するための第2コンパートメントを形成する工程とを含む。

【0021】

本発明の種々の実施態様を添付の図面を参照し、あくまで例示を目的として以下に説明する。

【図面の簡単な説明】

【0022】

10

20

30

40

50

【図 1】本発明のスヌース容器の斜視図である。

【図 2】図 1 のスヌース容器の側面図である。

【図 3】内方部分が外方に突出した底部を有する図 1 および 2 のスヌース容器の断面図を示す。

【図 4】内方部分が内方に突出した底部を有する図 1 および 2 のスヌース容器の別の断面図を示す。

【図 5】カバーを有する図 1 および 2 の基部の底面図を示す。

【図 6】カバーを部分的に取り除いた図 1 および 2 の基部の別の底面図を示す。

【0023】

図を参照すると図 1 および 6 は、基部 2 と、蓋 3 と、カバー 4 とを含む容器 1 が示されている。基部 2 と蓋 3 は、後述するように少なくとも 1 つの形態において、未使用のスヌースを収容するための第 1 のスペースまたはコンパートメントを構成し、基部 2 とカバー 4 は、使用済みのスヌースを収容するための第 2 のスペースまたは廃棄用コンパートメント 6 を構成する。

【0024】

基部 2 は、円形の底壁 7 を含み、この底壁は、そこから上方に延びた周壁 8 を有し、その頂部 9 は、それが蓋 3 を受けることができるように小さい直径を有する。基部 2 の底壁 7 は、中央部分 13 を囲む外方部分 10 と、外方の環状の凹部 11 を有する環状領域と、内方の環状溝 12 とを含む。環状の凹部 11 と溝 12 は、カバー 4 の 2 つの環状の突起 14、15 と係合し、これによりカバー 4 は、基部の底壁 7 に取り外し自在に取り付けられ、面一の外観を呈する。外方部分 10 には図 5 および 6 に示すように凹部 16 が設けられており、これによりユーザーが指でカバー 4 を取り外せるようになっており、廃棄コンパートメント 6 を供する中央部分 13 に触れることができる。

【0025】

中央部分 13 は、図 3 および 4 に示すように環状の凹部 11 と溝 12 に囲まれ、溝 12 によって環状凹部 13 が第 1 および第 2 の形態を取れるようになっている。図 3 は、中央部分 13 が外方に突出し、環状凹部 11 と溝 12 がカバー 4 の 2 つの環状の突起 14、15 を受けている。この形態においては、カバー 4 と中央部分 13 が密に位置合わせされており、カバー 4 が中央部分 13 に当接して位置しているので、容器 1 には廃棄用のコンパートメント 6 が設けられていない。図 3 から明らかなように中央部分 13 は、カバー 4 を受けるためのスペースを供するために基部の外方部分 10 の僅か下方に凹んだ状態であるので、カバー 4 の外面は、基部 10 と実質的に面一になり、カバー 4 と外方部分 10 との間に滑らかな外面または継ぎ目が供される。第 1 の形態において第 2 または使用済みスヌース用のコンパートメントがないことが好ましいが、当然のことながら中央部分 13 とカバー 4 との間にスペースがあってもよい。

【0026】

溝 12 は、図 4 に示すように中央部分 13 が内方に突出し、よって廃棄用コンパートメント 6 を形成する第 2 の形態を中央部分 13 が取るように変形するプラスチックなどの可撓性の弾性材で形成される。廃棄コンパートメント 6 は、溝 12 の内方の周壁 17 が、それが反対方向に延びるまで周壁自体に亘って折れ曲がるようにスペース 5 の方に、形を変えることができる部分 13 を押して形成される。容器 1 の容量は、基部 2、蓋 3 およびカバー 4 の外側の境界によって定まるので、容器 1 の形を変えることは、未使用のスヌースを保持するスペース 5 の容量が減少し、一方使用済みスヌースを収容するスペース 6 の容量が増加するようにスペースが再配分される。この特徴は、未使用のスヌースをパッケージするために設けられたスペースを侵害せずに一時的に廃棄されるスヌースを収容するように適合し、よって容器の形状寸法は、廃棄コンパートメントを持たない容器と同じままである。

【0027】

中央部分 13 がスナップ作用、即ち中央部分 13 に加えられる圧力が第 2 の形態に達するまである程度の限度を超えて中央部分を移動させるのに充分になったときに溝 12 の弾

10

20

30

40

50

性が中央部分 13 を第 2 の形態に「スナップ式」または「音が出るように瞬間的に」入り込ませることによって第 1 および第 2 の位置間を移動することが想定される。この限度を超えると中央部分が第 2 の形態を取るためにさらに圧力を加える必要はなくなる。しかしながら十分に圧力が加えられず、限界点に到達しないような場合、中央部分 13 の弾性によって解放されたときの元の形態に中央部分 13 が戻る。

【0028】

蓋 3 は、円形の頂部 18 を含み、ここから周側壁 19 が延びている。蓋 3 の周側壁 19 は、基部 2 の壁の頂部 9 と同じ長さであり、これにより容器 1 を閉じたとき、基部 2 の壁の頂部 9 が蓋 3 の周側壁 19 に囲まれる。

【0029】

本発明の操作を図 3 および 4 を参照して説明する。ユーザーは、未使用のスヌースを取り出すために基部 2 から蓋 3 を外し、スヌースの一部を取り出し、これを唇の下に入れる。ユーザーが使用済みのスヌースを捨てようとして適当なごみ箱等がない場合、ユーザーが基部 2 からカバー 4 を取り除き、中央部分 13 を内方に押して使用済みのスヌースのためのスペース 6 を設ける。その後カバー 4 を基部 2 に再度取り付け、使用済みのスヌースが一時的にそこに収容される。

【0030】

これとは別に本発明の図示していない実施態様では、上述したような基部の代わりに蓋の頂壁が上述したような第 1 および第 2 の形態を取るようにしてもよい。この別の実施態様では蓋と基部が未使用のスヌースの第 1 のスペースを形成し、蓋に取り外し自在に取り付け可能なカバーが使用済みのスヌースの第 2 のスペースまたは廃棄コンパートメントを形成する。概略、蓋が外方の環状の凹部と内方の環状溝を有する環状の領域に囲まれた中央部分を含む。この内方の溝によって蓋の頂壁が変形することができ、中央部分が第 1 のスペース内に内方へと突出し、廃棄コンパートメントを形成する第 2 の形態を中央部分が取る。外方の環状凹部は、廃棄コンパートメントを一時的に封止できるようにカバーの突起を収容する。

【0031】

当然のことながら形を変えることができる部分が外方に突出しているとき、カバー 4 と中央部分 13 によって形成されたスペース 6 は、それが最初の廃棄される 2、3 のスヌースを保持することができるように既に十分な容量を有している。さらにスヌースが使用され、廃棄されるスヌースの保持するスペースがいっぱいになったとき、中央部分 13 を相対的に空になったスペース 5 内へと内方に押し込むことができ、これにより処分されるスヌースのためのスペースが大きくなる。

【0032】

当然のことながらさらに弾性溝を中央部分を囲む環状の領域に組み入れることができ、これによりより多くのスヌースが使用され、廃棄コンベアーにより大きなスペースが必要なるにつれて使用済みのスヌースを保持するスペースが徐々に大きくなる、または広がる。従ってコンパートメントの相対的な大きさは、決まった度合いで各環状溝を変形させるために中央部分に圧力を加えることによって段階的に変えることができる。壁は、ユーザーが新しい所定の位置に到達したことを音で知ることができるように圧力を加えた際に各位置にスナップ式に移動するようにしてもよい。

【0033】

形を変えることができるという特徴を含む容器のコンパートメントは、ポリプロピレンを射出成形することによって製せられ、未使用のスヌースを保持する第 1 のスペースを形成する対応するコンパートメントは、プレス加工された金属で作製することが想定できる。

【0034】

また別の実施態様では、壁は加えられた圧力が解除されると変形を止め、コンパートメントの大きさが複数の所定の段階を経るのではなく、ユーザーによって形成されるようにしてもよい。中央部分がスナップ作用によって決められた位置に限定されないように環状

10

20

30

40

50

溝が除々に変形できるようにする材料で環状溝を製することも想定される。この別の実施態様では、変形した環状の溝は、材料の抵抗によってその位置に留まり、さらにスペースを大きくするには変形することができなくなるまで環状の溝を変形させ続けるために追加の圧力が必要とされる。

【 0 0 3 5 】

さらに別の变形例において、蓋と基部の両方に形を変えることができる壁を設けてもよく、ユーザーが蓋、基部またはその両方に使用済みスヌース用のコンパートメントを形成するかの選択をできるようにしてもよい。

【 0 0 3 6 】

さらに当然のことながら容器は、中に追加のコンパートメントを形成することができる複数のコンパートメントまたは容器を形成する壁の形を変えることができる部分に圧力を加えて拡大される既存のコンパートメントを含んでもよい。

10

【 0 0 3 7 】

未使用のスヌースのコンパートメントの大きさを犠牲にしてスヌースの使用に応じて除々に大きくなる廃棄コンパートメントの形成または拡大について主に参照してきたが、ユーザーが再び廃棄コンパートメントを小さくすることも可能である。これは、例えば容器が再利用される場合に必要とされる。

【 0 0 3 8 】

上記の事から当然のことながら本発明は、初期のコンパートメントの元の容積内に延びるようにコンパートメントの外壁の形を変えることによって別のコンパートメントを形成することによって容量を小さくすることができるコンパートメントを最初に有する容器を提供する。別の実施態様では容器は、予め2つ以上のコンパートメントを有してもよく、2つのコンパートメントを分ける変形可能な壁をユーザーによって加えられる圧力に応じて形を変え、スヌースが使用され、より大きなスペースが使用済みのスヌースを収容するために必要になるに従って各コンパートメントの互いの容量を変えるようにしてもよい。

20

【 0 0 3 9 】

本発明の種々の実施態様を示し、説明してきたが、上記の説明は、好ましい実施態様の説明としてみなされるべきであり、添付の特許請求の範囲の範囲内にある他の実施態様もここでの開示の一部を形成するものとして考慮すべきことを当業者であれば理解するはずである。

30

【 先行技術文献 】

【 特許文献 】

【 0 0 4 0 】

【 特許文献 1 】 欧州特許第 1 6 6 7 5 4 1 B 号

【 特許文献 2 】 国際公開第 W O 2 0 0 8 / 0 6 6 4 5 0 号

【図 1】

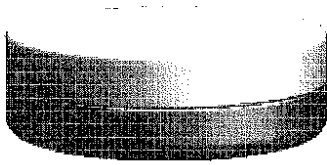


Figure 1

【図 2】



Figure 2

【図 3】



Figure 3

【図 4】

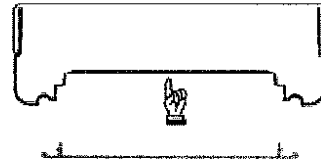


Figure 4

【図 5】

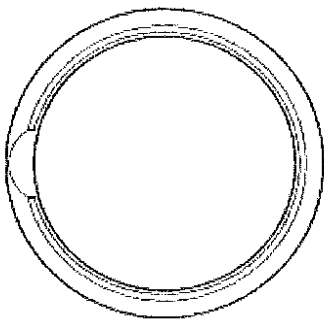


Figure 5

【図 6】

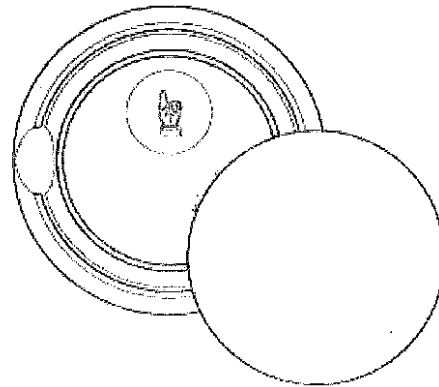


Figure 6



---

フロントページの続き

- (72)発明者 ギブソン、ポール  
イギリス、サウサンプトン エスオー１５ ８ティーエル、リージェンツ パーク ロード、アール  
アンド ディー センター、ブリティッシュ アメリカン タバコ リミテッド内
- (72)発明者 マッケンジー、アーロン  
イギリス、サウサンプトン エスオー１５ ８ティーエル、リージェンツ パーク ロード、アール  
アンド ディー センター、ブリティッシュ アメリカン タバコ リミテッド内

審査官 黒石 孝志

- (56)参考文献 国際公開第２００８／０６６４５０（ＷＯ，Ａ１）  
国際公開第２００５／０１６０３６（ＷＯ，Ａ１）  
米国特許出願公開第２００７／０２２８０５１（ＵＳ，Ａ１）

- (58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)  
Ａ２４Ｆ ２３／００  
Ｂ６５Ｄ ２１／０８